

第3回「ガーゲン研究会」案内

研究会の準備が整いましたのでお知らせします。詳細は以下の通りです。

本案内は研究会の手順と指示が書かれています。印刷するなどして研究会中に参照できるように準備をお願いします。

本メールに「授業通信」を添付しています。鮫島先生が作成してくれました。研究会では「授業通信」を用いて、まず前回の振り返りを行います。「授業通信」を事前に読み、自分なりの意見・感想・質問を準備してください。

そのうえで、今回の課題文「第2章：関係こそすべてのはじまり」をLTDの手順に沿って読み解きます。事前準備（予習）をお願いします。

記

1. 開催日時 5月29日（土） 事前オープン：14時30分～15時00分
研究会：15時00分～17時00分
情報交換会：17時00分～17時30分

2. ZoomのURL

本URLを無断で第三者に知らせないでください。

トピック: 第3回「ガーゲン研究会」
時間: 2021年5月29日 02:30 PM 大阪、札幌、東京
Zoomミーティングに参加する
[https://us02web.zoom.us/j/82038452582?](https://us02web.zoom.us/j/82038452582?pwd=MH02Y283S2Nad0VER0d6aHpEWIFhUT09)
pwd=MH02Y283S2Nad0VER0d6aHpEWIFhUT09
ミーティングID: 820 3845 2582
パスコード: 640513

3. 事前オープン 14時30分～15時00分

少しでも早く仲間の顔を見たい方や、ZoomやLTDについて質問のある方は、この時間をお使いください。

なお、この間にzoomの接続をご確認ください。通信状況や特別な理由がない限りビデオはオンをお願いします。

定刻（15:00）になったら研究会を始めます。定刻開始にご協力ください。

4. 研究会の流れ 15時00分～17時00分まで

次の手順を考えています。時間配分は若干のズレも予想されます。ただし、開始と終了の時間は厳守します。

グループ編成はランダムな4人グループとします。人数により3人グループになることもあります。zoomのブレイクアウト機能を使います。どなたと一緒になるか誰も分かりません。

(1) 03分 (15:00–15:03) 主催者の挨拶・手順の説明

(2) 07分 (15:03–15:10) 自己紹介

4人グループで自己紹介をする。

自己紹介の内容は氏名、所属、専門、参加動機、「予習の程度」などを、手短かに。15:10までに全員が自己紹介を終える。

自己紹介の順番は久留米大学から一番近い方から順番に。

(3) 10分 (15:10–15:20) 「授業通信」グループ討論

グループで「授業通信」を理解する。一人一項目ずつ「授業通信」で気になった話題を提供し、ラウンドロビンを意識しながら交流する。全員が話題を提供できるように手際よく進める。時間が来るまで話し合う。質問があれば準備する。

(注意) 上記 (2) と (3) は連続して行います。15:03–15:20までの間はグループごとに時間管理と進行をお願いします。

(4) 15分 (15:20–15:35) 「授業通信」全体討論

まず、鮫島先生よりコメントをいただき、その後、質疑応答をおこなう。

(5) 40分 (15:35–16:15) ミーティング

予習に沿ってグループごとにミーティングをおこなう。

時間配分：大まかな目安。

15:10–15:40 (30分間) LTDのstep 2～step 4 記述内容の理解

15:40–15:50 (10分間) LTDのstep 5～step 6 関連づけ

(6) 10分 (16:15–16:25) 休憩

(7) 25分 (16:25–16:50) 全体での質疑応答

ミーティングで残された問題点や疑問点など全体で議論する。

(8) 09分 (16:50–16:59) 訳者の感想・コメント

(9) 01分 (16:59–17:00) 主催者の挨拶・終了

5. 情報交換会 16時30分～17時00分

研究会後に情報交換会を行います。希望者は残ってください。研究会の内容を中心に全体で交流します。ここでも一部グループ活動をおこなう予定です。

【添付資料】

協同ゼミ「ガーゲン研究会」について

以下は第1回の研究会のおりに示した本研究会の目的や方法についてまとめたものです。研究会への参加にあたり留意してください。

なお、最後に研究会の日程があります。ご確認をお願いします。諸般の都合により、主催者側で決めさせていただきました。ご了承ください。

1. 目的

ガーゲンの社会的構成主義を理解し、各自の研究や実践のさらなる展開をめざすことを研究会の目的とします。

2. 参加条件

本研究会に興味関心をもち、本会の目的達成に向け、共に心と力をあわせて活動することを参加条件とします。

3. 教材

主たる教材は次の書籍とします。

研究会の展開により新たな教材を追加することもあります。

ガーゲン, K. J. (2020). 関係からはじまる – 社会構成主義がひらく人間観 –. ナカニシヤ出版.

(原典) Gergen, K. J. (2009) Relational Being: Beyond Self and Community. Oxford: Oxford University Press.

4. 方法

同時双方向型のビデオ会議システム（Zoom）を使用したオンライン研究会とします。コロナがおさまったら、一度は対面で研究会を開きたいものです。

5. 開催期間と回数

概ね一年間をひとまずの区切りと考えています。二ヶ月に一回を目処にの開催としたいと思います。具体的な日時は別途調整します。本案内の最後に次回の予定を書いています。

6. 研究会の方法

本研究会では、学習成果を高めるために、協同学習に基づくLTD話し合い学習法の過程プランを意識した展開を試みます。厳密にLTD過程プランにそうのではなく、LTD過程プランの理念を活かした展開にしたいと考えています。従って、LTDを知らない参加者も、指示に従って活動することで、学習成果を高められると考えます。

7. 事前準備の方法

事前準備はできる限り、LTD過程プラン8ステップに沿って行ってください。少なくとも次の点を意識した予習をお願いします。

- ①言葉の理解 (step 2) 分からない単語や概念を調べる。
- ②主張の理解 (step 3) 課題文全体の主張を簡潔にまとめる。
- ③話題の理解 (step 4) 話題を見つけ、話題ごとに主張をまとめる。
- ④関連づけ (step 5・6) 課題文で学んだ内容を関心事と関連づける。
- ⑤質問の準備 疑問点や質問事項を準備する。

9. 今後の予定

本研究会は二ヶ月に一回程度の頻度で開催する予定です。現時点で分かっている予定を次にあげておきます。諸般の事情により変更することもあります。

なお、開催時間はいずれも今回と同じです。開催時間は「事前オープン14:30」、「研究会15:00」、「情報交換会16:30」です。

- 1回目 1月23日(土) 「はじめに」
- 2回目 3月27日(土) 「第1章：境界画定的存在からなる世界」
- 3回目 5月29日(土) 「第2章：関係こそすべてのはじまり」
- 4回目 7月31日(土) 「第7章：知の共同生成」
- 5回目 9月25日(土) 「第8章：関係こそが教育のカギ」
- 6回目 11月27日(土) 未定

以上

(文責・安永)